

詰四会の氾濫

担当 たくぼん

◇ 解答者57名 全題正解22名

誤無正 誤無正

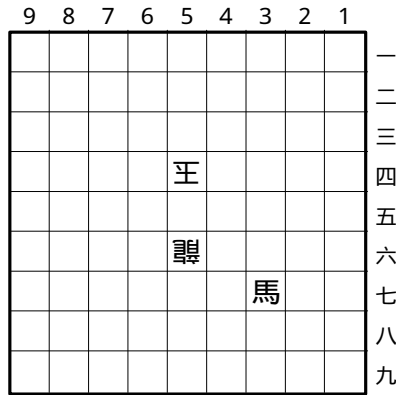
- ① 0 13 44      ② 2 9 46
- ③ 1 19 37      ④ 1 4 52
- ⑤ 1 28 28      ⑥ 1 31 25
- ⑦ 1 26 30      ⑧ 1 14 42
- ⑨ 0 13 44

神無一族の氾濫と言えば、泣く

子も黙る難解な作品が多いことで有名で、私も全題正解した事は前回のただ1度。その氾濫をどういう訳か詰四会が担当することになりました。もちろん難解な作品は解説できるわけがありませんので、最も集客力があり人気のある短編ばかりで過去最高の解答者数をもくろんだ訳です。結果は過去最

高！の解答者数・過去最高の全題正解者数となりました。皆さんどうもありがとうございました。それでは解説のようなものを・・・

① くるぼん 作 ばか詰 5手

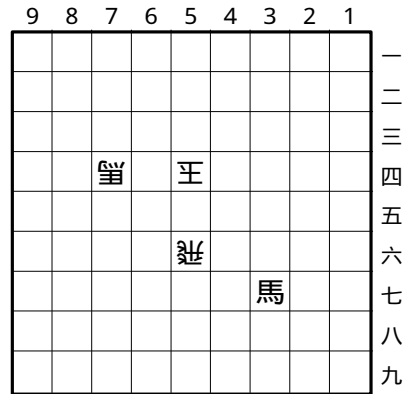


持駒 金銀

43 銀、44 玉、34 銀成、45 玉、44 金迄5手。

作者（投稿時）—なんとかこねくり回したすえにようやく一作完成しましたので投稿します。

☆ ちよつと発表までの裏話をしますと、作者から初めに送られてきた投稿図は次の作品でした。



持駒 金銀

作意は2七馬、3六飛以下の7手でしたが5手の早詰がいくつかあり、この手順が意外と面白い順でしたので7四馬を6三馬にすれば5手の完全作になりますねと返信しました。その後5六の駒を龍にすれば6三馬も省けることが分かり完成しました。作者が詰備会でこの作品がなかなか解けなかったのは、実はこんな経緯があったからでした。こんな簡素な形の5手のばか詰で無解13名はお見事でした。

秋元節—龍馬動かず、それはないよ

天津包子—苦戦27馬と考えた

市村道生—袋の中の鼠

今川健一—局面が広がって、悩む。

解ければ「なあーんだ」。これが、

ばか詰。

太田啓好—手が多く悩んだ。傑作！

作！

柿久桂古—銀の大活躍

金子義隆—ヤバイところに逃げるのがばか詰の基本。

神無七郎—全着手に「4」の数字

が含まれる、詰四会を象徴する作品：という解釈はどうでしょう？

神無太郎—簡素ながら味わいのある手順。

小五郎—成が盲点、悩みました。

小林看空—これはいろいろの図が

考えられますね。少しくつつてみ

ました。2解ものもけっこう面白

いです。



西村恒雄―馬を動かして銀・金の順を探して苦労しました

浜崎歩―腹銀+頭金、でないところが新鮮

弘光弘―素朴な手順でよい。

真T―銀成が完全に思考外でした。かなりの時間楽しめました。

安原嗣治―銀の瞬間芸(二役)が絶妙

若林―馬を動かさなければ簡単。動かした人は大変そう。

② 斎藤・久保 作 ばか詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							馬	
			飛		角			
					王			
		銀						
	遊							

持駒 なし

43 飛生、44 金、同飛生、55 玉、

66 金迄5手

久保貴史(投稿時)―(発表名について) 斎藤さんが原図を提案され私が検討と修正をしていったためです。

☆本作は、斎藤好幸氏と久保貴史氏の合作で創作過程は前述の通りです。斎藤氏は以前詰パラで行われた「王の行進」「王の逆行進」という企画で現在共に最長手数記録を持っている方です。

また久保氏は愛媛県の指将棋で県代表に何度かなられた強豪の方ですが、それだけではなく過去の氾濫に解答を出されたりとフェアリーにも造詣が深く今後が大いに期待できる方です。作品が詰パラに載る日もそう遠くは無いでしょう。

手順はばか詰の王道とも言うべき飛不成の連続技と詰上り斜一線

のあぶり出しということ为好評で

した。5手で合駒が出ると言うのも意表を付きました。ただ配置はやや苦しいところもあり22と88

の駒は省きたいところですが難しいようです。

秋元節三―今回詰上りが見えた唯一の作

天津包子―曲詰上手く出来ている市村道生―美しい詰上り。初形の玉は絶好の位置

今川健一―ばかなら、何でも出来る?、そんなことはありませんよ。

太田啓好―形だけ

柿久桂古―飛生2回ほうまい

金子義隆―5手詰で合駒が出るとは突破り。

神無七郎―不成を作意にするのは、まだすれていない証拠。

神無太郎―手順の割りに配置が大きい。曲詰にこだわりすぎ?

くるぼん―よくよくみれば連続不成&あぶりだし。成らずに気づか

ず往生しました。

小五郎―中合ですか、やられました。きれいな斜線の出来上がり。

小峰耕希―手順は在り来たり。形重視でしょうか。

佐々木寛次郎―中々6馬の形にならない筈・・・金打とは

●なまじつか、詰み形が見えるだけに、頭から4四飛生、5五玉、6六馬(初手から2四角成と、ちゃんと馬が作れるように出来ている)にするべく奮闘努力をしたが駄目だった。半分以上諦めかけていた時に、何故か「6六金」が見えて詰んだ。ばかばかりのような詰め手順で、まさに「ばか詰」そのもの

佐藤宣多―斜めラインがGOOD!  
佐藤善起―キレイに斜一線  
佐藤司―曲詰にしてしまうと素晴らしい  
Sub―美も亦、詰めものの基本

高橋達也―最終形を予想しながら駒を運ばせました。

滝本幹夫―ばか詰のあぶり出しでしたか

冬眠蛙―もしかして最初は22角と88飛がなかった？

利波偉―これも簡単でしたが、飛生二回+曲詰で楽しめました。

中沢照夫―詰め上がりに趣向あり楽しめる

中出慶二―単純にして素朴な作品  
名越健将―見事な斜め一線

西村恒雄―これは予想どりの詰み形でした

浜崎歩―やはり、こういうのがないと

弘光弘―飛不成がいい味。  
真T―飛不成2回、分かっている

も気持ちいいです。  
若林―曲詰なら面白いな、と思っ

たら即収束へ。

③ たくぼん 作 ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
						銀		
								飛角
						王		
						香		

持駒 角

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								銀
						皇		
								龍馬
						王		角
								銀
						香		

持駒 なし

初めから24角が打ってあつては話しになりませんね。

ばか詰の手順とすれば1手目と3手目の不思議さと詰上りが狙いでしたが、合駒は出ないと見切れば狙いは見破れたことでしょう。ただ短評では苦戦された方も多かつたようでした。

秋元節三―暗算では詰みと気付かなかつた  
天津包子―おいおいそこへ捨てる  
と元に戻るよ

市村道生―お尻に火がつくが、逃

げ場所なし。珍景

今川健一―HPで大忙しのたくぼんさん。「これで、ご勘弁を」ですね。

太田啓好―初手がいい  
柿久桂古―初手に考えさせられた  
金子義隆―易しくてホツとした。  
ヌルヌルしているのがたくぼん流

神無七郎―作者名で初手を決め打ち。無記名出題ならもつと苦労したかも。

神無太郎―らしい詰難さはある。  
くるぼん―効率の悪そうな角打ち  
がつかまえる拠点作りとは

小五郎―右辺へ追いやる手順ばかりを考え詰上りが予想できず、難問でした。

小林看空―少しいじってみました。  
駒をひとつ減らしてみました。  
13角が見せ手ですが、誰も打たないかな。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					銀	平		
							飛	
						王	角	

持駒 角

動して詰めるのが、私の考えだった。それも7手なら詰むが、5手ではどうしても詰まない。半月後に2五角打・3五玉・3六角・・・

そして戯れに4四玉として、しばらく眺めていたら、何と詰んでい。盲点か、逆も真なりと言うべきか・・・

佐藤宣多―最後まで悩みました。

初手が重すぎてやりにくい手だし、

銀成りで詰ます局面も全然見えませんでした。こういうの苦手です

佐藤善起―角がダブる打が意外

Sub―此のストーリーは、考え

もつかない

清水大昌―解けたものの中ではこれが一番難しかったです。短編ばかり詰めでは手数短い方が難しい

のでしょね。最後の形のバランスが素晴らしいです。

高橋達也―飛車の横効きを乗り越える

天六辰年―角の打って返しに納得

冬眠蛙―だめですよ本気出しては・・・

利波偉―苦戦しました。玉の居た

36に直、角を引くのが盲点で盤に

並べてしまいました。中村増一―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

西村恒雄―初手、三手目の感触が

いいですね。①と何か似てそう味

のある角打ちです

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛	科		王					
	王	驍	王					
	平	平						

持駒 なし

81 飛生、92 玉、84 桂、93 玉、

91 飛生、82 玉、92 桂成迄 7手

作者(投稿時)―初形と詰め上がり図とでは、桂馬が寝返った形に

なっているとところがポイントです。

☆作者は全くの新人の方で、携帯

電話のメールにて投稿がありました。

キレイな美濃囲いで飛車生の

連続や桂の寝返りと気持ちよい手

順です。

秋元節三―実戦型はばか詰では解

ばか詰だからこそ、玉を2筋に移

☆すつきりとした改作案でさすが

と思います。実は発表作も私の原

案より神無太郎氏のアドバイスに

よって駒が1枚減っており神無

一族には感謝しております。

小峰耕希―駒の動きは小さいし詰

上りは一番見え易いしで、物足り

ない。

佐々木寛次郎―私を知る5手詰の

中では最難解の傑作

●ばか詰だと分かっているても、否

ばか詰だからこそ、玉を2筋に移

きやすい

天津包子―苦戦しました

市村道生―世の中、生きていければ

楽しみあり。傑作

今川健一―先ずは成るよね。これで悩みます。

太田啓好―考える所なし

かい賊―狭いところで成るとロクなことがない

柿久桂古―実戦型でウマイ詰

神無七郎―2手目は意外と指しにくい。狭い方に逃げるのは、ばか詰では盲点？

神無太郎―細やかな手順は好印象

だが、2枚金が重すぎる。

北村太路―全くこの詰上がりが思いつきませんでした。9二玉から

9三玉は指しづらかった。

小五郎―詰めてなお美濃は崩れず。小林看空―これは勿体ない。4aに

すれば完全なツインです。また

4bなら3解ですが。好みなかな。

小林看空改作

ばか詰 7手 2解(ツイン)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛								
	王	王						
	卒	卒						

持駒 桂

小林看空改作

ばか詰 7手 3解

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛								
	王	王						
	卒	卒		卒				

持駒 桂

小峰耕希―手順はともかく、無駄

駒を置いていない点は評価出来る。

佐々木寛次郎―私の解図力は④が

最初で12月5日です

●これこそ簡単に詰みそうだが、

客寄せ?用の①が詰まなかったせ

いか、これも詰まない。動かせる

駒は限られて居るし、5二の金が

無いと4二銀で詰むから8〜9筋

で詰む筈だ。結局は一旦9二玉と

寄ってからの8四桂が見えないこ

とになる。見えないと言うより、

他の手に目が行きつ切りだったと

言うべきか

佐藤宣多―桂馬が寝返った!

佐藤善起―実戦型の好作

佐藤司―美濃困いは、やはり端が

弱い

Sub―好型からのスタートと云

う事で・・・

清水大昌―これが最初に解けまし

た。解図欲をそえられる作品です

ね。右に逃したらアウト。

滝本幹夫―美濃の方に手を出すと

失敗

千葉肇―9手なら2手目93玉で

飛金合

天六辰年―やさしいが解いて楽し

い作

冬眠蛙―上に追い出す手順とか考

えてしまいました。よく見たら詰

むわけではないですね。

利波偉―初めてばか詰を作るとこ

ういう作品になりますよね。とこ

ろで②金は不要駒でしょうか?

中沢照夫―飛車不成2回。飛車も

玉も初形の位置にもどる。

中出慶―生飛車のヤリクリがパ

ズルになっている

中村増一―飛は生で活用するのが、

ばか詰の常道

名越健将―この詰上りしかない筈

なのに・・・

西村恒雄―2枚の金がうまく余詰

を消している

浜崎歩―初形と終形を比べると、文字通り桂の「寝返り」ですね

弘光弘―飛不成がうまい。

ほの字―ぜひとも解きたい初形。

消去法で王手を続けてゴールイン。

真丁―美濃の弱点はやつぱ端にあるんですね。

安原嗣治―初志貫徹の飛不成！

若林―完全限定であることから考えると簡単に解けるが、楽しい。

⑤ 小峰耕希 作 ばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						桂		
					桂			
			桂	王			歩	
			金			金	歩	
			金					

持駒 香

59香、58龍、同香、57馬、

同香、同桂生、65飛、56玉、

47角迄9手

作者(投稿時)―詰上りからの逆

算です。飛で角を取る展開は在り

来たりと判断し、初手香を最遠打

にし、移動合で飛角を稼ぎ、桂不

成で取るようにしてみました。も

しこの構成に前例があつたらごめ

んなさい。余詰消しのために桂を

貼り付けていく内に、偶然にも斜

めに並んでくれました。本局の配

置における唯一の長所かも。欠点

は配置。これは連続移動合を力任

せに捻じ込んだため、僕の創作

力では止むを得ません。もつとも

今回の担当者は他人の悪形に文句

を付けられる立場には無さそう

ですので、安心して投稿出来ます

(笑)。解析局面数は結構多いです

が、紛れは多いのか少ないのか

よくわかりません。慣れてる解答

者は馬と龍の位置から前半を見抜

いてしまひそうです。僕は自作の

難易度を気にしない作家なので、

一瞬で解かれても一向構わないん

ですけど。

☆龍と馬の連続移動中合からその

駒を取り、取った大駒を連続で打

ち、詰上げる。その間に桂生を入

れており9手全てが生きている。

配置に苦労がにじみ出ているが桂

の並びで視覚的にはOKでしょう。

天津包子―やつぱり2枚とも取る

んだつたのか

市村道生―ご馳走をタップリ戴き、

後はサラツと梅茶漬

今川健一―移動合はまあまあ、最

後の桂生で引き締まる。

太田啓好―詰ましくかった

柿久桂古―何ともウマイ香の使い

方

金子義隆―玉方27角がうまく消

えそうにないので、変だが桂で取

り返すことに気がつく。面白いよ

うな、そうでないような。

神無七郎―意味ありげな(実際あ

るんでしようが) 25歩に誘われ、

右に行く紛れをずいぶん読まされ

ました。今回の出題で最後に残つ

た作。

神無太郎―意表の移動合2回。た

だ桂4枚はどうにかしたい。

河原林隆彦―結局真下とは、左ま

で考えた

小五郎―四桂の守りが強力です。

小峰耕希―2度の凶面差し替えに

対応して下さったたくぼんさんと、

改良案を提示して下さいった太郎さ

んに感謝。

佐々木寛次郎―どの一手も素晴ら

しい手ばかりの連続

●この手の問題は、作意意外の手

で詰めると2手多い11手で詰む

ようになっている。しかしその手

順が捨てられずに、回り道や道草

をすることになる。結局は香の王手で「合駒」を取るようになるのだが、限定になる手を選ぶと、竜と馬までは簡単だが、桂生と桂の跡に直接打つ6五飛が、相当見えにくい

佐藤宣多―ちよつと大掛かりかな？

Sub―一寸大仰な駒配りが残念だが凄

天六辰年―魔性の25歩

冬眠蛙―…つたく最近の若い人た

ちは容赦ないなあ…

利波偉―移動合をバクバク食べて、その駒をベタベタ打つ手順が意外

で一番難しかった。特に9手目同桂生辺りでループしました。

西村恒雄―桂馬が1枚でも欠けると余詰のようですね

浜崎歩―本手順はストレートなんです

すが、紛れが多く、解くのは結構大変。四桂配置に作者のセンス

が光る作

弘光弘―2度の移動合が楽しい。

真丁―桂が動くとは思わず、苦戦しました。桂4枚の並びがいいですね。

若林―連続移動合は面白い。しかし、9手なのに桂配置についての期待

してしまるのが性。

⑥ 若林 作 ばか詰 11手

一二三四五六七八九

9									
8									
7			?						
6									
5									
4									
3									
2									
1									

持駒 なし

作者(投稿時)―短手数数の生角追

い。想定手順から余詰消しで作成。新味は無いけれど、イデアルメイ

トにまとまりましたし、角追いとして

はこんな所でしようか。☆生角追

いえ端へ追い込むことを考えれば

苦労したはず。66玉での詰上りは

全く意表をつきました。正解者数は

最低で今回の最難解作でした。

天津包子―71とは余詰防ぎと見

破つてからが大変でした

市村道生―お金は質屋で手に入る。駄洒落で失礼

は容易に余詰消しができるのでし

ようが、第9回九州グループ別館

の課題(使用駒3種)用の作品だ

ったとか? 神無太郎―うゝむ、狙いがよく

からない。河原林隆彦―13手解なら簡単

ですが… 小五郎―ずい分考えましたがダメ

です、わかりません。小峰耕希―前半は追い手順、後半

はよくある5手詰で、解後感が今

一。佐々木寛次郎―少し局面が広くな

ると駄目なようです ●この程度の問題なら、樹形図を

作っても詰めるのが本当でしょう

が、根気が続かない 佐藤宣多―結構難しかったです。角がそれぞれ2回動いて合駒を取

って打って終わり。合駒が取れる

場所は…と考えてやつと解け

97角、87玉、98角、77玉、86角、67玉、89角、78金、同角、66玉、56金迄9手





王手で桂で飛を取る手も考えたが、

手が長くなり過ぎる。しかし、き

つと手は有るんでしようネ

佐藤宣多―不動玉でしかも合きか

ずの詰め上がりとは・・・。意表

をつかれました

Sub―金四枚がヒントになった。

太郎さんにはお茶の子サイサイ

天六辰年―この詰上りに一笑

冬眠蛙―最初どうやったら詰むん

だ？と途方にくれましたがよく考

えたらこれしかないですよ。手

順の限定の仕方がさすがです。

利波偉―盤に並べて必要駒のみ駒

袋から出して解いていたので、合

駒の残りを無くすことに、全然気

がつかなくて大苦戦しました。

西村恒雄―2手目85〇合で最後

になって判明しました

浜崎歩―盲点のど真ん中をつく作

あやうく最後の手段(不詰に賭け

原雅彦―ギブアップ寸前。勝手に

ルールを解釈して9手詰にする所

6枚も駒が残っているの、なか

なこの様な発想は出てこない。

超難問でした

弘光弘―玉を動かしたくなるので

この展開はなかなか浮かばなかつ

た。

松澤信行―なんとなく詰む形が思

い浮かぶが、この構想を実現でき

ることがすばらしい。さすが。

真T―11手で合駒5回。限定の仕

組みも分かりやすく楽しくった

です。

安原嗣治―盤上に飛2枚と銀4枚

を配置させるのに大苦労。(詰工房

で2手目銀合のヒントを得て以下

は何とか自力で解きました。正解

なら良いのですが・・・)

若林―金合があれば詰みすぎるが

品切れ。この手数で飛銀まで品切

した。

⑧ 冬眠蛙 作 ばか詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								角
					銀	銀		皇
					銀	銀		
					金	金		
					金	金		
							桂	王
							桂	王

持駒 金3

初めてばか詰でお目見えです。狙

いは意表を付く小駒4種成です。

ばか詰では不成が王道ですが、最

近は成が狙いの作品も増えてきま

した。本作は小駒4種の成を短手

数で実現しています。36角を入れ

るか入れないかが一番の悩みどこ

ろでしたが、これは作者次第でし

ようね。今後は看寿賞に一番近い

男から妖精賞に一番近い男への転

換を希望しておきましょう。

秋元節三―成るが趣向になるとは

天津包子―これは易しかった

市村道生―銀を成らせて主旨達成

4八歩が天邪鬼(3,4手の2手を

省略したい気もしますが・・・)

今川健一―短編の雄、冬眠蛙さん

の初登場?、これは一本道でした

ね。

太田啓好―玉方成4回はすごいの

かな

17金、同香成、36角、同銀、

37金、同銀成、39桂、同歩成、

38金、同桂成、26金迄11手

作者(投稿時)―一応狙いは小駒

4種成です。最初はストレートに

していたのですが、紛れゼロだつ

たので36角を加えました。

これで6種成の作品とかあったら

もう何の存在価値もありません。

☆冬眠蛙さんといえは短コンの解

説者やブログで有名です。今回は

5手詰が全然解けない。どうして？

かい賊—うん、馬くんは来んでええから

金子義隆—不動玉は珍しいかも。かしこ詰っぽいですが。

神無七郎—本局の謎は3手目の応酬。単なる記録作にしくなかつた？

神無太郎—受方小駒4種なりが狙いか。だとすればもっと端的な表現が好み。(3~4手目省略とか、初形で成駒排除とか)

小五郎—守りの駒のほとんどが「ひつくり蛙」になりました。

小峰耕希—徹底的成る狙い。尤も銀以外は強制ですが。

佐々木寛次郎—⑧と⑨のどちらから詰めても相乗効果

●ばか詰でも、初手から「王手」が掛かっている作品は好きではないが、こんな形で出されると、つ

い頬がゆるんでしまう。「やさしい」のは何でも？得ですネ

佐藤宣多—初手に？と思っていたら受方小駒4種成でしたか

Sub—成るしか無い。で何とかなった

清水大昌—銀を運んでくるのですね。

高橋達也—スクラムを組んだような初形

千葉肇—てつきり詰まされたと観念した

天六辰年—3七金を銀で取らせるのが狙い

冬眠蛙—なんかやつぱり中途半端ですね。初めての創作とはいえないでは…。

利波偉—玉方の小駒が全て成るのが狙いでしょうか？

名越健将—生が一回入るかと思ったら、全部成った

西村恒雄—将棋の駒で遊ぶ山崩し

のようなばか詰

浜崎歩—詰四会用(?)小駒四種成。フェアリーで成限定はかえって新鮮ですね

弘光弘—3七金を銀成で取らせるところがおもしろい。

ほの字—飛があればオールスター。金を飛にはできない。

松澤信行—15香は16香の間違い? 17金、同玉、16金、2

7玉、17金までの5手、17金、同玉、16金、同玉、2

5角、27玉、16角、17玉、27金までの9手の早詰みが発生しているよう?

真I—銀を引っ張ってくるのが面白いです。

若林—とても易しいけれど綺麗な作り物。成らせ4回は見事。

⑨ 小林看空作 ばか詰 11手  
「プレアデスII」

									1
									2
									3
									4
									5
									6
									7
									8
									9

持駒 なし

55角生、54玉、33香生、43玉、52銀生、同玉、82飛生、61玉、62歩生、71玉、83桂迄11手  
☆8番が4種成の作品で本作は11手での六種不成の作品です。予定していたわけではないですが、見事に氾濫のトリを飾るコラボとなりました。昨年ネット上で玉方六種不成「プレアデス」が発表されネットフェアリー界TOPIXで短編の部・第2位を獲得しまし



どういう作品なんですか？

中出慶一―6種不成の本命作。今月はこれ1作のみで良い。

西村恒雄―すごい六種不成りの最短手数。82飛と55角がつながっているのに納得

浜崎歩―大ベテランの若々しい作。

⑧と裏表？

弘光弘―初手で動かした角が最後に効いているところがいい。

ほの字―見事、全駒勢揃い、成れる駒が生で勢揃い。

真丁―案外簡素？な形でできるんですね。すごいです。

若林―逆順で解く気にさせてくれた名作。初手の55角から82飛にヒモがついているのが流石。

### 【総評】

秋元節三―短編ばかりに大喜びしたのもつかの間何と難しいこと

天津包子―ばか詰ばかりで楽しめました。おもちゃ箱もヨロシク

市原誠―はやくも正月ボケです今川健一―置炬燵でテレビを横目に、パラ誌を開いて解く。この手数なら、盤駒は不要。疲れたら、横になるだけ。こうして、今年も暮れて行く。

かい賊―たった3題で締切り過ぎてますが送っちゃいました。今年もよろしくお願いします。

加賀孝志―狙いがハッキリしており楽しい。新人が多いほど活性化

する。解答者70名の記録をめざして下さい

神無七郎―「氾濫」初解答！

神無太郎―作意を書いてみて最終

手金(全、圭含む)が6作もあり、

ちよつとびつくり。(安易すぎっ)

河原林隆彦―難易度が最も低いと

いうのは事実でしょう。氾濫は全滅か一問解答するのがやつとでは

か詰短手数特集は助かる。これなら解く気が起きる。どの作を見ても完全限定なので非限定解は最初から削除して考えた方が賢い？

北村太路―史上最易のはずが全然解けず。普段の氾濫は0題だからやはり最易か。他も面白そうだったのに解けずに残念ですが、プレ

アデスIIが見れて本当によかったです。

小五郎―手数だけ見て楽勝かと思

いましたがやっぱり「氾濫」、大変

でした。

小峰耕希―①〜⑥が低調、⑦〜⑨

が堅調・好調でした。

佐々木寛次郎―12月号のばか詰

9題を見た時は、初めて『氾濫』

が全問正解が出来ると思んだが甘い読みでした。一番早く詰めたのは④番で、それも12月5日、⑥

と⑦は今の私の頭ではダメです。全問正解は、まさかの『ヒトケタ』

かも知れせんネ

佐藤宣多―いつもの氾濫よりはやさしいかもしれませんが、意欲作が多く難解作もありました。レベルは高いと思います。ところで①

③のように「大駒があるが動かさず、小駒で詰める」作品は苦手です。どうしても大駒を動かしたいですよ。みなさんはどうですか？

佐藤司―易しかったのは事実ですが、如何せん他のコーナーで時間を取られてしまいました

清水大昌―詰将棋は前から興味が

あったのですが、たくぼん様のブログを拝見してフェアリーに興味

を感じ、9月号から詰パラを買

い始め、今回初解答させていただきました。来年からは普通に小学校等

で初段を目指そうと思いましたが、

今回一足早く氾濫に解答しようと思

いました。9問中5問と過半数

解けました(と思う)ので。書き

方などに問題がありましたらご容赦ください。

高橋達也―私の氾濫の解答史上最多の解答数と思われます(笑)

冬眠蛙―高速バスだけだったのでこれで精一杯でした。すみません。

利波偉―ばか詰は解く気がするの  
で、たまには特集してもらいた  
いです。

中沢照夫―ばか詰特集はありがた  
いのですが難しい作品が多いです。

浜崎歩―四万十川の氾濫は困りま  
すが、詰四会はこれからもどんど  
ん氾濫して、フェアリー界をうる  
おして下さい。(あまり難しくな  
って「詰難四(詰め難し)会」にな  
ると、手が出せなくなりま  
す  
が・・・) 作者名の「ぼん」には  
何か(四国方言での)意味がある  
のでしょうか? 関西地方で「△△  
のボンボン(坊っちゃん)」「△  
△ボン」という言い方はあります

が・・・(まあ四国は「坊っちゃん」  
の本場(?)ですけど)

原雅彦―端から289手詰は諦め  
ていたので詰将棋が意外に早く解  
けたのと、ルールが簡単で長手数  
でないばか詰なので、初挑戦しま  
した。

原岡望―くやしいが取り急ぎ2問  
だけ解答します。

ほの字―主が違ってもやはり氾濫  
は難問ぞろい。

松澤信行―面白い作品で趣向作が  
多くいい企画だと感心しました。

これからもぜひ、行つてく  
ださい。  
安原嗣治―「特集：ばか詰」は難  
しかったです。

【解答成績】(太字5名当選)

【全題正解】

天津包子 市村道生 今川健一  
加賀孝志 金子義隆 神谷 薫  
神無七郎 小島幸喜 駒井信久

小峰耕希 佐藤宣多 Sub

天六辰年 利波 偉 西村恒雄

浜崎 歩 原 雅彦 広瀬 稔

弘光 弘 真 T 若林

【8題】 太田啓好 松澤信行

【7題】 秋元節三 飯山 修

小五郎 山田 立 佐々木寛治郎

【6題】 柿久桂古 河原林隆彦

坂本竜雄 高橋達也 冬眠蛙

【5題】 伊東史郎 神無太郎

北谷明子 清水大昌 高沢武夫

【4題】 片桐正二 中出慶一

名越健将 ほの字 安原嗣治

【3題】 小倉宏章 かい賊

北村太路 くるぼん 佐藤善起

千葉 肇 中沢照夫 中村増一

林八千子 山口 勇

【2題】 佐藤 司 滝本幹夫

原岡 望 市原 誠

【0題】

☆今回の氾濫は、短編はか詰特集  
と一言することで好評を得てホッとし  
ています。短編ならではの簡素図  
式や条件作などいろいろな楽しさ  
を感じていただけたのではないで  
しょうか。

またなかなか言う機会はない  
のでいい経験をさせていただきま  
した。神無一族に感謝します。詰  
パラ誌に掲載されるものはページ  
制限が大きな足かせとなり取りた  
い短評もカットせざるをえなかつ  
たり、いろいろな参考図なども載  
せることができなかつたりとやや  
納得いかない部分もありました。

今回完全版ということで作成し  
とまず完結です。誤指摘などもあ  
り抵抗のある部分もありますが、  
その点はご容赦いただきたいと思  
います。作者ならびに解答者およ  
び神無一族の方々ありがとうございました。(たくぼん)